

杉並第六小学校

読書に親しみ、学びを深める学校図書館

今の学校図書館

- ・図書を活用して学ぶことができるように、単元ごとにブックトラックに関連資料をまとめ、学年ごとに貸し出しをしている。
- ・今年度は図書委員会の活動が活性化し、全校児童に読書を推進することができた。また、行事とコラボした企画もあり、児童が主体的に楽しみながら企画に参加し、学校図書館を利活用する児童が増加した。

学校図書館の運営

- ・楽しむために本を読むだけの図書館ではなく、学習を深める、つなげるために図書館を活用できるように担任と連携して、適宜学年単位での貸し出しをしている。
- ・「図書の時間」「並行読書」の充実のため、年間計画を作成し、図書館の活用につなげている。
- ・児童が色々な種類の本に触れるために、年中行事や学校行事に合わせた特色ある取組を行っている。

1年間の主な活動

- ・オリエンテーション
- ・読書旬間(年2回)
- ・図書集会(年2回)
- ・運動会関連取組(読書で運動会一大玉送り)
- ・保護者・地域ボランティアによる読み聞かせ(年8回)
- ・図書ボランティアによる壁面装飾(毎月)

特色ある取組

○読書旬間の取組

- ・朝(8:00～8:15)開館
- ・3冊貸出(通常2冊)
- ・大型絵本読み聞かせ(図書委員)
- ・おすすめの本紹介
(図書委員、児童、先生)
- ・読書クイズ
- ・読書ビンゴ
- ・読書郵便



これからの学校図書館

- ・朝読書や並行読書など多様な読書活動を通し、児童が色々な本に触れる機会を設け、さらなる定着を図る。
- ・教員と連携をとり、授業における学校図書館の活用拡大を推進していく。